厚生労働大臣の定める掲示事項

当院は、厚生労働大臣の定める基準に基づいて診療を行っている保険医療機関です。

１　入院基本料に関する事項について

当院の一般病棟（専門病院入院基本料（７対１））では、１９人以上の看護要員（看護師・准看護師・看護補助者）が勤務しております。なお、時間帯毎の配置（平日）は次のとおりです。

・朝８時３０分～夕方１７時１５分まで、看護要員１名あたりの受け持ち人数は３～４人以内です。
・夕方１７時１５分～深夜０時４５分まで、看護要員１名あたりの受け持ち人数は１４～１５人以内です。
・深夜０時４５分～朝８時３０分まで、看護要員１名あたりの受け持ち人数は１５人以内です。

２　ＤＰＣ対象病院に関する事項について（令和７年６月１日時点）

当院は入院医療費の算定にあたり、包括評価と出来高評価を組み合わせて計算する「ＤＰＣ対象病院」となっております。

※医療機関別係数 1.4492
（基礎係数 DPC 標準病院群 1.0451 ＋ 機能評価係数Ⅰ 0.3307 ＋ 機能評価係数Ⅱ 0.0716 ＋ 救急補正係数 0.0018）

３　入院時食事療養費及び入院時生活療養について

入院時食事療養（Ⅰ）を算定すべき食事療養の基準に係る届出を行っております。

当院は、入院時食事療養費に関する特別管理により食事の提供を行っており、療養のための食事は管理栄養士の管理の下に、適時（夕食については午後６時以降）、適温で提供しております。また、定期的にお好みの食事を選択できる「選択メニュー」を実施しております。

４　診療明細書について

当院では、医療の透明化や患者さんへの情報提供を積極的に推進していく観点から、領収書の発行の際に、個別の診療報酬の算定事項のわかる明細書を無料で発行しています。また、公費負担医療の受給者で医療費の自己負担のない方についても、明細書を無料で発行することとしています。なお、明細書には、使用した薬剤の名称や行われた検査の名称が記載されるものですので、その点、ご理解いただき、ご家族の方が代理で会計を行う場合のその代理の方への発行を含めて、自己負担のある方で明細書の発行を希望されない方は、会計窓口にてその旨お申し出下さい。

５　後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用推進について

当院は「後発医薬品使用体制加１」を届出ており、厚生労働省の後発医薬品促進の方針に従って、後発医薬品の使用に積極的に取り組んでいます。また、医薬品の供給不足等が発生した場合、治療計画の見直しや適切な対応ができるよう体制を整備しております。なお、状況に応じて患者さまへ投与する薬剤が変更となる可能性があります。詳しくは主治医または薬剤師等へご相談ください。

６　特定療養費等について

（１）特別の療養環境の提供（室料差額料金について）

区　分 個室室料（税込） （一日につき）	病　室（部屋番号）	広　さ	備　考
特別室Ｂ　21,000円 （4室）	3階東（331・332・333） 4階西（470）	32.1㎡	ﾊﾞｽ・ﾄｲﾚ・洗面ﾕﾆｯﾄ・冷蔵庫 応接ｾｯﾄ・ﾃﾚﾋﾞ ﾐﾆｷｯﾁﾝ・ﾗｲﾃｨﾝｸﾞﾃﾞｽｸ
特別室Ｃ　17,000円 （4室）	4階東（406） 5階東（506）・5階西（556） 6階東（606）	21.9㎡	ﾊﾞｽ・ﾄｲﾚ・洗面ﾕﾆｯﾄ・冷蔵庫 応接ｾｯﾄ・ﾃﾚﾋﾞ
特別室Ｅ　12,000円 （53室）	3階東（301～305・312・313） 3階西（351～355・371～375） 4階東（401～405・412・413） 4階西（451～455・471～475） 5階東（501～505・512・513） 5階西（551～555・571～575） 6階東（601～605・612・613・621） 6階西（651～655）	14.2㎡	洗面台・応接用ｲｽ 冷蔵庫・ﾃﾚﾋﾞ

※病室などの指定はできません。室料は午前０時を廻る毎に１日分加算されます。

（２）保険外負担に関する事項

① 初選定療養費（紹介状のない方）

初診時　医科：７，０００円（税込）

歯科：５，０００円（税込）

※紹介状のある場合や緊急入院その他やむを得ない場合などは費用の負担を求めません。

② 各種診断書など　（令和 7 年 7 月 1 日）

当院では下記の項目について、その使用量、利用回数等に応じた実費の負担をお願いしています。

区　　分	料　金（税込）
自動車損害賠償保障法の適用に係るもの及び人の生命又は身体に関する任意保険に係るもの	1 通につき　6,600 円
診断書	1 通につき　5,280 円
諸証明書（医師の判断を要するもの）	1 通につき　3,960 円
諸証明書（医師の判断を要しないもの）	1 通につき　2,200 円

名　称	金　額(税込)	単　位
セカンドオピニオン料（30 分以内）	15,180 円	1 回につき
セカンドオピニオン料（30 分超 15 分毎）	2,860 円	1 回につき
リンパ浮腫ケア利用料	4,200 円	1 回につき
遺伝外来（初回）	10,200 円	1 回につき
遺伝外来（初回以外）	5,100 円	1 回につき
がんゲノム医療外来	41,800 円	1 回につき
Guardant360　初回	470,000 円	1 回につき
Guardant360　２回目以降	356,000 円	1 回につき
情報通信機器利用料（オンライン診療に係るもの）	1,650 円	1 回につき
診察券再発行料	100 円	1 枚につき
カルテコピー料金	10 円	印刷面につき
フィルムコピー料金（大四ッ切／四ッ切・六ッ切以下）	1,050 円／630 円	1 枚につき
画像コピー料金（CD-R）	1,100 円	1 枚につき
その他自由診療による診察の場合	12 円	1 点単価

※寝巻類など入院時に必要な日用品・テレビ等はレンタルでご用意しています。

※なお、衛生材料等の治療（看護）行為及びそれに密着した「サービス」や「物」についての費用の徴収や「施設管理費」等の曖昧な名目での費用徴収は一切しておりません。

７　医療従事者の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

（１）医師の負担の軽減及び処遇の改善に資する具体的な取組内容

医師と医療関係職種、医療関係職種と事務職員等における役割分担 ・初診時の予診の実施　・静脈採血等の実施　・入院の説明の実施 ・検査手順の説明の実施　・服薬指導　等
勤務計画上、連続当直を行わない勤務体制の実施
当直翌日の業務内容に対する配慮

（２）看護職員の負担の軽減及び処遇の改善に関する取組事項

具体的な取組内容

項　目	内　容
・業務量の調整	時間外労働が発生しないような業務量の調整
・看護職員と他職種との業務分担	薬剤師・リハビリ職種・臨床検査技師・臨床工学技士
・看護補助者の配置	看護補助者の夜間配置
・妊娠・子育て中、介護中の看護職員に対する配慮	院内保育所・夜勤の減免制度
・夜勤負担の軽減	月の夜勤回数の上限設定

夜間における看護業務の負担軽減に資する業務管理

	急性期看護補助体制加算 （夜間看護体制加算）
・夜勤の連続回数が２連続（２回）まで	☑
・夜間を含めた各部署の業務量の把握・調整するシステムの構築（過去１年間のシステムの運用、部署間における業務標準化）	☑
・看護補助者の夜間配置	☑
・みなし看護補助者を除いた看護補助者の比率５割以上	☑
・ICT、AI、IoT 等の活用による業務負担軽減	☑

近畿厚生局長への届出事項

（１） 基本診療料・特掲診療料の施設基準等に係る届出（令和７年１月１日現在）

受理届出名称	受理記号	受理番号	算定開始年月日
情報通信機器を用いた診療に係る基準	情報通信	第102号	令和 4年 4月 1日
医療ＤＸ推進体制整備加算	医療ＤＸ	第1564号	令和 6年 6月 1日
地域歯科診療支援病院歯科初診料	病初診	第28号	平成30年11月 1日
歯科外来診療医療安全対策加算２	外安全２	第92号	平成30年10月 1日
歯科外来診療感染対策加算３	外感染３	第92号	平成30年10月 1日
専門病院入院基本料	専門入院	第1号	令和 6年10月 1日
診療録管理体制加算３	診療録３	第6号	平成12年 4月 1日
医師事務作業補助体制加算１	事補１	第192号	令和 4年 4月 1日
急性期看護補助体制加算	急性看補	第118号	令和 6年 6月 1日
看護職員夜間配置加算	看夜配	第111号	令和 4年 8月 1日
重症者等療養環境特別加算	重	第114号	平成30年 4月 1日
無菌治療室管理加算１	無菌１	第21号	平成25年10月 1日
無菌治療室管理加算２	無菌２	第9号	平成24年 4月 1日
放射線治療病室管理加算（治療用放射性同位元素による場合）	放射治療	第5号	令和 4年 6月 1日
緩和ケア診療加算	緩診	第22号	平成29年11月 1日
栄養サポートチーム加算	栄養チ	第18号	平成22年 7月 1日
医療安全対策加算１	医療安全１	第433号	平成30年 4月 1日
感染対策向上加算１	感染対策１	第25号	令和 6年 6月 1日
患者サポート体制充実加算	患サポ	第164号	平成24年 5月 1日
報告書管理体制加算	報告管理	第4号	令和 4年 4月 1日
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	褥瘡ケア	第23号	平成22年 4月 1日
呼吸ケアチーム加算	呼吸チ	第43号	平成30年11月 1日
術後疼痛管理チーム加算	術後疼痛	第9号	令和 4年11月 1日
後発医薬品使用体制加算１	後発使１	第363号	令和 6年 2月 1日
データ提出加算	データ提	第37号	平成24年10月 1日
入退院支援加算	入退支	第46号	令和 6年10月 1日
認知症ケア加算	認ケア	第217号	令和 3年12月 1日
せん妄ハイリスク患者ケア加算	せん妄ケア	第152号	令和 4年11月 1日
排尿自立支援加算	排自支	第44号	令和 2年 4月 1日
地域歯科診療支援病院入院加算	地歯入院	第1号	平成20年 4月 1日
ハイケアユニット入院医療管理料１	ハイケア１	第40号	令和 6年10月 1日
入院時食事療養／生活療養（Ｉ）	食	第506号	昭和59年 5月22日
外来栄養食事指導料の注２に規定する基準	外栄食指	第33号	令和 3年 3月 1日
外来栄養食事指導料の注３に規定する基準	がん専栄	第19号	令和 6年11月 1日
がん性疼痛緩和指導管理料	がん疼	第64号	平成22年 4月 1日
がん患者指導管理料イ	がん指イ	第6号	令和 4年 6月 1日
がん患者指導管理料ロ	がん指ロ	第24号	平成26年 4月 1日
がん患者指導管理料ハ	がん指ハ	第22号	平成26年 5月 1日
がん患者指導管理料ニ	がん指ニ	第12号	令和 2年 4月 1日
外来緩和ケア管理料	外緩	第12号	平成29年11月 1日
移植後患者指導管理料（造血幹細胞移植後）	移植管造	第7号	平成25年 6月 1日
外来放射線照射診療料	放射診	第17号	平成24年 5月 1日
外来腫瘍化学療法診療料１	外化診１	第9号	令和 6年10月 1日
連携充実加算	外化連	第55号	令和 4年 4月 1日
外来腫瘍化学療法診療料の注９に規定するがん薬物療法体制充実加算	外化薬	第26号	令和 6年 6月 1日
療養・就労両立支援指導料の注３に規定する相談支援加算	両立支援	第14号	令和 3年 1月 1日
がん治療連携計画策定料	がん計	第5号	平成22年12月 1日
がん治療連携計画策定料	がん計	第5号	平成23年 7月 1日
がん治療連携計画策定料	がん計	第5号	平成23年 7月 1日
がん治療連携計画策定料	がん計	第5号	平成23年 9月 1日
外来排尿自立指導料	外排自	第20号	平成28年 8月 1日
薬剤管理指導料	薬	第290号	平成22年 4月 1日
医療機器安全管理料１	機安１	第120号	平成22年10月 1日
医療機器安全管理料２	機安２	第4号	平成20年 4月 1日
医療機器安全管理料（歯科）	機安歯	第4号	平成20年 4月 1日
歯科治療時医療管理料	医管	第2022号	平成24年 7月 1日
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注２	在看	第26号	平成30年 7月 1日
在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	在電場	第22号	令和 5年 2月 1日
遺伝学的検査の注１に規定する施設基準	遺伝検１	第23号	平成30年 7月 1日
骨髄微小残存病変量測定	骨残測	第5号	令和元年 7月 1日
ＢＲＣＡ１／２遺伝子検査	ＢＲＣＡ	第14号	令和 4年 4月 1日
がんゲノムプロファイリング検査	がんプロ	第9号	令和 4年 4月 1日
ＨＰＶ核酸検出及びＨＰＶ核酸検出（簡易ジェノタイプ判定）	ＨＰＶ	第44号	平成22年 4月 1日
検体検査管理加算（Ⅳ）	検Ⅳ	第9号	平成22年 4月 1日
国際標準検査管理加算	国標	第5号	平成29年 3月 1日
遺伝カウンセリング加算	遺伝カ	第7号	平成30年 7月 1日
遺伝性腫瘍カウンセリング加算	遺伝腫カ	第5号	令和 2年 4月 1日
神経学的検査	神経	第121号	令和 6年 5月 1日
ＣＴ透視下気管支鏡検査加算	Ｃ気鏡	第11号	平成24年 5月 1日
精密触覚機能検査	精密触覚	第5号	平成30年11月 1日
画像診断管理加算２	画２	第67号	令和 6年 7月 1日
歯科画像診断管理加算１	歯画１	第1号	平成14年 4月 1日
ポジトロン断層撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合を除く。）	ポ断	第7号	平成19年 4月 1日
ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影（アミロイドＰＥＴイメージング剤を用いた場合を除く。）	ポ断コ複	第7号	平成19年 4月 1日
ＣＴ撮影及びＭＲＩ撮影	Ｃ・Ｍ	第530号	令和 3年 5月 1日
心臓ＭＲＩ撮影加算	心臓Ｍ	第87号	令和 3年 8月 1日
乳房ＭＲＩ撮影加算	乳房Ｍ	第10号	平成28年 4月 1日
全身ＭＲＩ撮影加算	全身Ｍ	第6号	令和 3年 3月 1日
抗悪性腫瘍剤処方管理加算	抗悪処方	第13号	平成22年 4月 1日
外来化学療法加算１	外化１	第28号	平成20年 4月 1日
無菌製剤処理料	菌	第44号	平成29年 6月 1日
脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅱ）	脳Ⅱ	第423号	平成26年 5月 1日
運動器リハビリテーション料（Ｉ）	運Ｉ	第296号	平成27年 5月 1日
呼吸器リハビリテーション料（Ｉ）	呼Ｉ	第184号	平成25年 5月 1日
摂食機能療法の注３に規定する摂食嚥下機能回復体制加算２	摂嚥回２	第6号	令和 4年 7月 1日
がん患者リハビリテーション料	がんリハ	第20号	平成24年 5月 1日
リンパ浮腫複合的治療料	リン複	第1号	平成28年10月 1日

受理届出名称	受理記号	受理番号	算定開始年月日
認知療法・認知行動療法１	認１	第53号	令和 3年 1月 1日
人工腎臓	人工腎臓	第201号	平成30年 7月 1日
導入期加算１	導入１	第225号	令和 4年 8月 1日
移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	移後拒	第5号	令和 4年 4月 1日
ストーマ合併症加算	スト合	第32号	令和 6年 6月 1日
手術用顕微鏡加算	手顕微加	第47号	平成28年 4月 1日
皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算	皮セ節	第122051号	平成22年 8月 1日
組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	組再乳	第11号	平成25年10月30日
四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算	処骨	第2号	令和 2年 7月 1日
原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算	脳光	第3号	令和 6年 5月 1日
脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	脊刺	第25号	平成13年10月 1日
鏡視下咽頭悪性腫瘍手術（軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。）	鏡咽悪	第4号	令和 2年 4月 1日
鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	鏡喉悪	第4号	令和 2年 4月 1日
内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）、内視鏡下副甲状腺（上皮小体）腺腫過形成手術	内下	第2号	平成30年 4月 1日
内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	内甲悪	第1号	令和元年11月 1日
乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術（一連につき）（ＭＲＩによるもの）	乳腺ガ	第4号	令和 3年 5月 1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	頭頸悪光	第1号	令和 4年 4月 1日
頭頸部悪性腫瘍光線力学療法（歯科）	歯頭頸悪光	第4号	令和 6年 6月 1日
乳癌センチネルリンパ節生検加算１及びセンチネルリンパ節生検（併用）	乳セ１	第13号	平成23年 6月 1日
乳癌センチネルリンパ節生検加算２及びセンチネルリンパ節生検（単独）	乳セ２	第13号	平成23年 6月 1日
乳腺悪性腫瘍手術（乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴わないもの）及び乳輪温存乳房切除術（腋窩郭清を伴うもの））	乳腫	第3号	平成28年 4月 1日
ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術（乳房切除後）	ゲル乳再	第11号	平成25年11月 1日
胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	胸腔縦悪支	第5号	令和元年12月 1日
胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	胸腔縦支	第5号	令和元年12月 1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	胸腔肺悪区	第4号	令和元年12月 1日
肺悪性腫瘍手術（壁側・臓側胸膜全切除（横隔膜、心膜合併切除を伴うもの）に限る。）	肺腫	第2号	平成28年 4月 1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	胸腔肺悪	第4号	令和元年12月 1日
胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）	胸腔形成	第1号	令和 4年 4月 1日
胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	胸腔食悪支	第6号	令和 3年11月 1日
食道縫合術（穿孔、損傷）（内視鏡によるもの）、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術（内視鏡によるもの）、等	穿瘻閉	第23号	平成30年 9月 1日
ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	ペ	第56号	平成10年 4月 1日
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（傍大動脈）	腹リ傍大	第7号	令和 5年 9月 1日
腹腔鏡下リンパ節群郭清術（側方）	腹リ傍側	第26号	令和 5年 9月 1日
腹腔鏡下十二指腸局所切除術（内視鏡処置を併施するもの）	腹十二局	第13号	令和 6年 3月 1日
腹腔鏡下胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	腹胃切支	第9号	令和元年 7月 1日
腹腔鏡下噴門側胃切除術（単純切除術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下噴門側胃切除術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	腹側胃切支	第8号	令和元年 7月 1日
腹腔鏡下胃全摘術（単純全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合））及び腹腔鏡下胃全摘術（悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの））	腹胃全	第8号	令和元年 7月 1日
バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	バ経静脈	第22号	令和元年 7月 1日
腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術（胆嚢床切除を伴うもの）	腹胆床	第2号	令和 4年 4月 1日
胆管悪性腫瘍手術（膵頭十二指腸切除及び肝切除（葉以上）を伴うものに限る。）	胆腫	第5号	平成28年 4月 1日
腹腔鏡下肝切除術	腹肝	第7号	平成28年 4月 1日
腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	腹膵切	第3号	平成24年 4月 1日
早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	早大腸	第9号	平成24年 4月 1日
腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	腹直腸切支	第13号	令和 3年 5月 1日
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	腹腎尿支器	第11号	平成29年11月 1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	腹膀胱悪支	第11号	令和 2年10月 1日
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	腹膀	第23号	令和 4年 6月 1日
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	腹前支器	第3号	平成25年 4月 1日
腹腔鏡下腟式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	腹腟子内支	第7号	令和 3年 2月 1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	腹子悪内支	第2号	平成30年12月 1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る。）	腹子	第7号	平成28年 5月 1日
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮頸がんに限る。）	腹子頸	第2号	平成30年10月 1日
医科点数表第２章第10部手術の通則の16に掲げる手術	胃瘻造	第70号	平成26年 4月 1日
医科点数表第２章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。）	乳切遺伝	第3号	令和 4年 4月 1日
医科点数表第２章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術）	子宮附遺伝	第3号	令和 4年 4月 1日
輸血管理料Ｉ	輸血Ｉ	第15号	平成19年 9月 1日
輸血適正使用加算	輸適	第28号	平成24年 4月 1日
コーディネート体制充実加算	コ体充	第4号	平成30年 4月 1日
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	造設前	第11号	平成24年 4月 1日
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	胃瘻造嚥	第43号	平成26年 4月 1日
広範囲顎骨支持型装置埋入手術	人工歯根	第12号	平成27年 5月 1日
麻酔管理料（Ｉ）	麻管Ｉ	第40号	令和 6年 7月 1日
麻酔管理料（Ⅱ）	麻管Ⅱ	第33号	令和元年 5月 1日
放射線治療専任加算	放専	第5号	平成12年 4月 1日
外来放射線治療加算	外放	第3号	平成20年 4月 1日
高エネルギー放射線治療	高放	第5号	平成19年 4月 1日
一回線量増加加算	増線	第8号	令和 2年 1月 1日
強度変調放射線治療（ＩＭＲＴ）	強度	第4号	平成24年 1月 1日
画像誘導放射線治療（ＩＧＲＴ）	画誘	第5号	平成30年10月 1日
体外照射呼吸性移動対策加算	体対策	第7号	平成24年10月 1日
定位放射線治療	直放	第5号	平成17年 2月 1日
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	定対策	第7号	平成24年10月 1日
画像誘導密封小線源治療加算	誘密	第1号	平成28年 4月 1日
保険医療機関間の連携による病理診断	連携診	第11号	平成25年 1月 1日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作製	連組織	第5号	平成22年 4月 1日
保険医療機関間の連携におけるデジタル病理画像による迅速細胞診	連細胞	第2号	平成22年 4月 1日
病理診断管理加算２	病理診２	第2号	平成24年 4月 1日
悪性腫瘍病理組織標本加算	悪病組	第15号	平成30年 4月 1日
口腔病理診断管理加算２	口病診２	第3号	平成26年10月 1日
クラウン・ブリッジ維持管理料	補管	第3212号	平成15年 2月 1日
外来・在宅ベースアップ評価料（Ｉ）	外在ベＩ	第320号	令和 6年 6月 1日
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ｉ）	歯外在ベＩ	第142号	令和 6年 6月 1日
入院ベースアップ評価料７８	入ベ７８	第6号	令和 6年10月 1日
術後のアスピリン経口投与療法　下部直腸を除く大腸がん（ステージがⅢ期であって、肉眼による観察及び病理学的見地から完全に切除されたと判断されるものに限る。）	先－３０４	第4号	令和 4年 2月 1日
術前のゲムシタビン静脈内投与及びナブ―パクリタキセル静脈内投与の併用療法切除が可能な膵臓がん（七十歳以上八十歳未満の患者に係るものに限る。）	先－３６５	第2号	令和 6年11月 1日
酸素の購入単価	酸単	第86391号	令和 6年 4月 1日

当院において令和６年１月１日から令和６年１２月３１日までに行った手術件数は以下のとおりです。
医科点数表第２章第１０部手術の通則の５及び６（歯科点数表第２章第９部手術の通則を含む）に掲げる手術に係る施設基準

区分１に分類される手術		
ア	頭蓋内腫瘍摘出術等（頭蓋内腫瘍摘出術（その他））	２６件
イ	黄斑下手術等	０件
ウ	鼓室形成手術等	０件
エ	肺悪性腫瘍手術等 （胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超える）、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除、１肺葉超・手術用支援機器使用）、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）、肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超える）、肺悪性腫瘍手術（部分切除）等）	２０４件
オ	経皮的カテーテル心筋焼灼術	０件
区分２に分類される手術		
ア	靭帯断裂形成手術等（骨悪性腫瘍手術（大腿））	４件
イ	水頭症手術等	０件
ウ	鼻副鼻腔悪性腫瘍手術等（鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（切除））	０件
エ	尿道形成手術等 （膀胱悪性腫瘍手術（経尿道的手術）（電解質溶液利用）、膀胱悪性腫瘍手術（切除）、膀胱悪性腫瘍手術（全摘（腸管等を利用して尿路変更を行わない））、膀胱悪性腫瘍手術（全摘（回腸又は結腸導管利用で尿路変更を行う））、膀胱悪性腫瘍手術（全摘（代用膀胱利用で尿路変更を行う）））	１８８件
オ	角膜移植術等	０件
カ	肝切除術等 （腹腔鏡下肝切除術（部分切除）（単回切除）、肝切除術（部分切除）（単回切除）、膵頭部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）、肝切除術（１区域切除（外側区域切除を除く））、肝切除術（３区域切除以上）、膵体尾部腫瘍切除術（リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術）等）	９６件
キ	子宮附属器悪性腫瘍手術等 （子宮附属器悪性腫瘍手術（両側）、女子外性器悪性腫瘍手術（切除）、女子外性器悪性腫瘍手術（皮膚移植（筋皮弁使用））、腟壁悪性腫瘍手術）	２１９件
区分３に分類される手術		
ア	上顎骨形成術等	０件
イ	上顎骨悪性腫瘍手術等 （舌悪性腫瘍手術（切除）、上顎骨悪性腫瘍手術（切除）、舌悪性腫瘍手術（亜全摘）、喉頭悪性腫瘍手術（頸部、胸部、腹部等の操作による再建を含む）、耳下腺悪性腫瘍手術（切除）等）	５９件
ウ	バセドウ甲状腺全摘（亜全摘）術（両葉）等	０件
エ	母指化手術等（自家遊離複合組織移植術（顕微鏡下血管柄付き））	８件
オ	内反足手術等	０件
カ	食道切除再建術等 （食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）、食道切除後２次的再建術（消化管利用））	１３５件
キ	同種死体腎移植術等	０件
区分４に分類される手術		
胸腔鏡又は腹腔鏡手術 （胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（肺葉切除又は１肺葉を超える）、腹腔鏡下腟式子宮全摘術、腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる）、内視鏡的食道粘膜切除術（早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術）、腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術、子宮附属器腫瘍摘出術（両側）（腹腔鏡）、腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）、腹腔鏡下腎（尿管）悪性腫瘍手術、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（部分切除）、胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術（区域切除）等）		８２４件
その他に分類される手術		
ア	人工関節置換術（人工関節置換術（肩、膝））	３件

統計資料（令和 6 年 1 月～令和 6 年 12 月）

入院患者数(延べ)	102,582 人
平均入院患者数	281 人
病床利用率	78.1%
平均在院日数	12.1 日
外来患者数(延べ)	169,500 人
平均外来患者数	695 人